

○ 高い評価を受けた項目

(5、6年児童、保護者、教職員ともに「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせて80%以上)

問1「楽しい学校」 問3「授業の分かりやすさ」 問4「聞くこと」 問7「教師の児童理解・評価」  
問8「保護者との対話」 問10「情報発信・公開」 問12「学校行事」

※ 問1「楽しい学校」について

本校では、いきもの学習を軸にした体験活動を豊富に行い、「楽しい授業・分かる授業」を推進しています。また、新型コロナウイルスのため、様々な活動に制限がありましたが、感染予防をしながら、徐々に活動を増やしてきています。コロナ禍になる前、PTAの親子活動として学年ごとに行っていたものをやめ、11/26(土)に全校児童・卒業生を対象にPTA主催「逃走中」を行いました。多数の参加があり、大変好評な活動となりました。

今後とも、児童が通いたくなる「楽しい学校」を目指します。

※ 問3「授業の分かりやすさ」について

本校では、1年生の担任に加えて、サポート教員を1名配置しています。算数は3年生・チームティーチング方式、4年生・少人数指導方式で学習しています。英語は、5・6年生において、英語専科教諭に加えて市のALTが指導しています。

今後とも、児童の自主性を育てながら、その児童にあった学習を提供できるよう、学校全体として推進していきます。

※ 問4「聞くこと」について

本校では、授業の中でまず「聞くこと」を重視し、それを受けて、友達同士が「伝え合う」、児童から教師に「伝える」ことを多く取り入れています。学校全体での取り組みが、児童に行きわたり始めたことをうれしく感じます。

※ 問7「教師の児童理解・評価」について

今回の評価を励みとし、児童一人一人のよさを確実にとらえることのできるよう、学年・学校体制で情報を共有し、個々の成長を促すことのできるよう支援していきます。

※ 問8「保護者との対話」について

特に、保護者の評価が93.8%→97.0%と上がっています。全教職員が保護者の声に耳を傾け、学校と家庭とが連携して児童の健全育成に努めることを常に心掛けていることを評価していただいたことを大変うれしく思います。こうした取り組みを続けるとともに3.0%の保護者に満足していただけていないこと、様々な貴重なご意見をいただいていることを反省し、保護者の皆様と連絡を密にして児童の健全育成に取り組めます。

※ 問10「情報発信・公開」について

保護者への文書をきずなメールに添付して、送ることが増えてきました。きずなメールに登録されていない保護者の方には、紙媒体で送付するなどの対応をしています。

児童への問い「家の人に、学校からの便りをきちんと見せている」について

87.3%→80.0%と下がっていますが、従来の紙媒体に加えて、個人のタブレット端末のロイロノート機能を使った連絡が、保護者に伝わっているかが、影響している可能性もあります。

※ 問12「学校行事」について

児童、保護者、職員ともに高い評価をいただきました。「スポーツフェスタ」「運動会」「いきいきタイム週間」など、児童が自主的に運営し、参加する学校行事を、さらに魅力的なものにするよう支えていきます。

○ 低い評価にとどまった項目

※ 問6「家庭学習」について

職員の評価は上がっているものの、児童への問い「進んで家庭学習をしている」について

68.2%→60.0%と下がっています。

今後、宿題の出し方を含めて、どの児童も意欲的に取り組みやすく、効果があるものを研究していきます。

## 1 確かな学力の育成・基本的な生活習慣の確立

- (1) 児童が主体的に学習に取り組む態度を養い、確かな学力の育成に努めます。
  - ・ 言語に関する能力を高め、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
    - 体験から感じ取ったことを進んで表現する場を設けます。
    - 学習課題について解決する方法を筋道立てて考え、PDCAサイクルで評価し、解決を目指します。
    - 議論を深める方法を工夫したり、学習用タブレットによる双方向型の意見交換の場を設けたりすることで、問題解決に向けて考えを整理したり関連付けたりすることができるように支援します。
    - 話す力・聴く力の育成に努め、互いの考えや学びのよさを認め合い、仲間と意見交換するペア・グループでの活動を行い、最終的に個々の考えを構築する授業づくりをすすめます。
  - ・ 児童一人一人が学習課題や対象に対して、思いや考えを深めることのできるよう支援します。
    - 思いや考えを持つことができる時間と場面を設定します。
    - 対話や学習用タブレットの活用、ノートや学習プリントへの朱書き等で個々の考え方や学びのよさを認め、意欲をさらに高め、継続させられるよう支援します。
- (2) 家庭との連携を大切にし、家庭学習をはじめとした学習習慣の確立を図ります。
  - ・ 児童の学力定着に効果的な家庭学習となるように、発達段階に応じた学習量や内容、実施方法を工夫します。
  - ・ 家庭との連携を強化することで家庭学習の取り組み状況を把握し、意欲を継続させて学習に取り組むことのできるよう、個に応じたきめ細かな指導をすすめます。
- (3) 登下校指導、交通安全指導をより充実させ、安全への意識を高めます。
  - ・ 通学班会やリーダー指導、一斉下校を定期に実施し、安全な登下校に対する児童一人一人の意識を高めます。
  - ・ 知立南小学校地区青少年健全育成協議会（愛称：みな丸会）やスクールガード、ボランティア南の会、PTA役員・委員の皆様との連携を図り、新しい形を模索しながら、児童の安全を見守る体制を整えます。
- (4) 明るく元気な挨拶が響く学校づくりを目指します。
  - ・ 教職員全員が児童のよき模範となるよう、児童、保護者、来校者の皆様に率先して挨拶することを心掛け、児童が挨拶するよさを実感できるよう手だてを工夫します。
  - ・ 保護者や地域の方と連携し、心と心をつなぐコミュニケーションとしての挨拶に加え、自他を守る防犯活動としても挨拶が有効であることの周知を図ります。

## 2 学校生活の充実

- (1) 学習の基礎・基本の徹底を図り、すべての児童によく分かる授業づくりを目指します。
  - ・ テーマや授業の展開を工夫し、一人一人が活躍できるような場を設定することで、自己有用感を育み、理解を深める授業づくりを推進します。
  - ・ 学習用タブレットを有効活用するとともに、少人数学級や一斉授業など、学習内容に合わせて授業形態を工夫したり、外部講師を招聘したりして、分かりやすい授業の展開に心掛けます。
  - ・ 安心して発言、活動できる学級づくり、落ち着いて学ぶことのできる学習環境づくりに努めます。
- (2) 一人一人の児童を大切にし、児童と児童とのかかわりを意識した活動を設定します。
  - ・ 児童の意見を積極的に取り入れる自主的・自発的な学級活動や児童会活動、委員会活動を展開します。
  - ・ 児童が考えを出し合い、協働して実際の活動に発展できるよう、有効な場の設定や支援の在り方について工夫します。
- (3) 学校安全への意識を高くし、課題に対して迅速に対応し、安全で整理された学校環境づくりに努めます。
  - ・ 教職員による定期的な安全点検を中心に、校内の危険箇所、老朽箇所を確実に把握し、安全で快適な環境づくりを推進します。
  - ・ 市との連絡を密にし、連携をより強めて、老朽化した施設の改善に取り組みます。
- (4) 家庭や地域との連携を図り、開かれた学校、地域から愛される学校の実現に努めます。
  - ・ みな丸会を中心とした地域協働活動の充実を図り、知立南小学校の教育活動の充実と発展を目指します。
  - ・ 学校ホームページや学校だより、学年・学級通信の一層の内容充実に取り組みます。
  - ・ 児童が主体的に活動し、保護者や地域の皆様にその様子が伝わるよう、行事や授業内容の改善・充実を図ります。

※ 改善案の実施と実現に向けて、全教職員で努力してまいります。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。